

「クロスボーダーM&Aのリスクマネジメントの実践セミナー」

開催のご案内

拝啓 貴社ますますのご隆昌誠に慶賀に存じます。

さて、日本企業が海外進出をするにあたって海外企業のM&Aを行うケースが急増しておりますが、一方で日本国内のM&Aと比較しても会計、税務、法務、環境等の面でリスクが高いため、あらゆる手段を使って、リスクマネジメントを図っておく必要があります。今般は、日本企業を代理して米国、欧州、アジア各国での海外M&Aについて豊富な経験と実績をお持ちの日比谷中田法律事務所の森幹晴弁護士を講師としてお招きし、具体的な事例のケーススタディをもとに海外M&Aのリスクマネジメントの実践とノウハウを御紹介いただき、デューデリジェンス、契約交渉、補償の確保（表明保証保険等）等で押さえておくべき点を解説いただきます。また、AIG損害保険株式会社 企業賠償・経営保険部シニアマネージャー 北村 卓也氏から、M&A リスクマネジメント・ソリューションの一つである表明保証保険につき、ご解説をいただくことを予定しております。

M&Aをご担当される経営企画部門、法務部門、財務部門、海外事業部門など関連部門のご担当者には必聴のテーマであり、ぜひご参加頂きたくご案内申し上げます。つきましては、ご参加ご希望の向きは、準備の関係等もありお手数をおかけしますが、12月6日（木）までに申込み頂きたくお願い申し上げます。

敬具

日時：平成30年12月10日（月） 10:00~12:00 （開場 9:30）

場所：日本機械輸出組合 第一会議室 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

議題1 講演：「事例から学ぶ海外M&Aを成功に導くディールマネジメントのノウハウ（仮）」（90分）
講師：日比谷中田法律事務所 パートナー 森 幹晴 氏（弁護士、ニューヨーク州弁護士）

（主要講演内容）

- DDと契約交渉 - 潜むリスクにどう備えるか？ ディールマネジメントのノウハウ
- 【事例1】買収後に工場の品質管理問題等が発覚したケースのスタディ
- 新興国リスク、不正リスクに以下に対応するか？
- 【事例2】買収後に不正会計が発覚したケースのスタディ
- 補償の確保 - 表明保証保険とは？ その活用法は？
- 【事例3】ファンドの売却案件で、売手が虚偽の利益情報を提供したケースのスタディ
- 米国M&AとCFIUSリスク - 法改正を踏まえた最新情報

議題2 講演：「M&A リスクマネジメントの実践」（20分）
講師：AIG損害保険株式会社 企業賠償・経営保険部
経営保険メジャーアカウントアンダーライティング課
シニアマネージャー 北村 卓也 氏

（主要講演内容）

- 表明保証保険とは
- 表明保証保険を巡る昨今の動向

議題3 質疑応答・意見交換（10分）

参加ご希望の方は12月06日（木）までに下記のセミナー開催案内からお申込み下さい（先着40名）

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

お問合せ先：日本機械輸出組合プラント業務グループ（担当：田平、田中）T:03-3431-9808/ tanaka@jmcti.or.jp

日本機械輸出組合

<講師略歴>

森 幹晴 氏	日比谷中田法律事務所 パートナー（弁護士、ニューヨーク州弁護士） 長島・大野・常松法律事務所（2004年 - 2015年）を経て、2016年1月より日比谷中田法律事務所勤務。なお、2011年-2012年は、Shearman & Sterling LLP ニューヨークオフィスに勤務。 M&A（日本企業による海外企業の買収、国内会社の買収）、独禁法、FCPA、CFIUSなどのコンプライアンス対応を専門とする。
北村 卓也 氏	AIG 損害保険株式会社 企業賠償・経営保険部 経営保険メジャーアカウントアンダーライティング課 シニアマネージャー 2000年 仏HEC経営大学院にてMBA取得。1991～99年 日本長期信用銀行に勤務、2000～2015年 AONグループ（日本、チェコ、オランダ）にて、保険／リスクマネジメント・デューデリジェンス業務、中東欧・ロシア地域の日系企業取引部門の統括業務に従事。2015年より、現職にてM&A保険専任引受担当となり、現在に至る。

参加ご希望の方は12月06日（木）までに下記のセミナー開催案内からお申込み下さい（先着40名）

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm>

お問合せ先：日本機械輸出組合プラント業務グループ（担当：田平、田中）T:03-3431-9808/ tanaka@jmcti.or.jp